

三浦

研一
究族

第二十八号

三浦一族研究会

三浦一族研究 第二十八号

口 絵	「横須賀市長坂やぐら群出土の常滑焼骨蔵器」	釤持輝久	… 1
ごあいさつ	「三浦一族研究会の新出発に向けて」	三浦一族研究会会长 伊藤一美	… 4
〈研究〉	「木曾の三浦氏伝承についての考察」	三浦尊 誉	… 5
〈総会記念講演〉	「三浦道寸とその時代」	青山学院大学非常勤講師 真鍋淳哉	… 19
〈講演会〉	「漆を知る」	(株)目白漆芸文化財研究所 小菅太一	… 47
〈特別連載〉	「吾妻鏡精読(1)」	國學院大學教授 高橋秀樹	… 62
〈史跡巡り〉	第一回「鎌倉鶴岡二十五坊跡他」	釤持輝久編	… 112
	鎌倉国宝館学芸員 浪川幹夫	… 112	
	第二回「ふたつの岡崎城を歩く」		
	雨岳ガイドの会 諏訪間伸	… 116	
	第三回「いざ、小坪合戦へ」	山城ガールむつみ	… 120
〈吾妻鏡を読む会〉	「『頼朝將軍記』東国武士が鎌倉に集結!」	伯山敦仁	… 124
〈学習講座〉	「いざ出陣、城でめぐる戦いの舞台」	山城ガールむつみ	… 138
〈オススメ本・情報紹介コーナー〉			
	「古記録入門」高橋秀樹著	伯山敦仁	… 153
	「三浦義村」高橋秀樹著	山城ガールむつみ	… 156
	「八条院の世界」永井晋著	三浦芳春	… 158
	「武家か天皇か・中世の選択」関幸彦著	伊藤一美	… 162
	「御成敗式目」佐藤雄基著	伊藤一美	… 164
	「源頼家とその時代」藤本頼人著	伊藤一美	… 165
	「莊園」伊藤俊一著	森敏晴	… 167
	研究会一年の活動	事務局	… 170
	新ホームページ開設について		
	三浦一族研究会の発行書籍		
	三浦一族研究会会則		
	第二十九号投稿規定		
	編集後記		

編集後記

令和五年度は、三浦一族研究会が横須賀市から自立していくために何をするべきなのか、暗中模索の一年でした。そうした中で、ここに機関誌「三浦一族研究」第二十八号を発行する運びとなりました。以下、主な記事をご紹介します。

口絵は、横須賀市長坂やぐら群より出土した「常滑焼骨蔵器」で、これを所蔵する赤星直忠博士文化財資料館の釣持館長の解説をいただいています。

研究では、三浦尊誉氏は木曾の三浦氏伝承について、島崎氏と永島氏の三浦太田和氏との関係を論考しています。

講演会では、真鍋先生が三浦道寸とその時代を包括的に解説し、小菅先生には日本の伝統文化である漆について、普段聞くことのできない非常に興味深いお話を聞いていただきました。

吾妻鏡精読は、今回から始まる特別連載で、長く続けてきた「吾妻鏡を読む会」が治承四年に戻るのを機会に、講義内容をベースにして最新の研究成果を盛り込んで解説をする画期的な試みです。

学習講座は、二回実施した城をキーワードにした中世の戦いの歴史を、鎌倉時代を中心に、講座では話しきりないこともふんだんに取りこんだ、内容になっています。

「吾妻鏡を読む会」では、治承四年の頼朝の旗揚げからのお馴染みの記事が解説されています。

その他、「史跡めぐり」「オススメ本コーナー」など盛りだくさんで、特に「オススメ本コーナー」は、七冊の本の紹介がされていて、力が入ったコーナーとなっています。たっぷりとお楽しみください。（編集代表 三浦芳春）

編集委員・鈴木誠、岩間満美子

○本誌表紙の題字は、佐久間史歩さんです。

三浦一族研究 第二十八号

発行日 令和六年（二〇二四）三月三十日

編集 三浦一族研究会

（事務局）

横須賀市小川町十一

横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

○四六（八二二）八一一六

発行

横須賀市

横須賀市小川町十一

○四六（八二二）四〇〇〇（代表）

定価

八〇〇円（税込）

*令和六年度発行分からは、編集・発行元・定価が変更になります。



本冊子は、グリーン購入法に基づく令和5年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。